

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	文教施設の防災対策の強化・推進		担当部局庁	大臣官房文教施設企画部		作成責任者	防災推進室長 森 政之	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	施設企画課防災推進室				
会計区分	東日本大震災復興特別会計		施策名	Ⅱ-7 安全・安心で豊かな学校施設の整備推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>学校施設は、子どもたちの活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。</p> <p>学校施設の安全性を確保するため、専門的技術者の派遣による技術的支援体制を整備し、天井材や照明器具等の非構造部材を含めた耐震対策を推進するなど、学校施設の防災機能の強化を推進する。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>学校施設の危険度や対策の優先度の判断、適切な対策手法に関する助言を行う専門的技術者を各都道府県教育委員会に派遣し、域内市町村等からの要請に応じて学校施設をモデル的に回り、効果的なアドバイスをする仕組みを構築し、その結果及び手法等を他の学校施設の対策に生かすことにより、迅速かつ効率的な対策の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の専門的技術者派遣 ・専門的技術者講習会の開催 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	516(復興特会)
		補正予算						
		繰越し等						
		計						516(復興特会)
	執行額							
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	市町村等からの技術的な支援要請に対する対応率	成果実績	%	-	-	-	100	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	学校施設の専門的技術者の派遣を委託した都道府県教育委員会等への委託件数	活動実績(当初見込み)	件	-	-	-	47	
							※25年活動見込である	
単位当たりコスト	10,982(千円/1実施主体)		算出根拠	516,176千円/47都道府県				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	0.2百万円					
	職員旅費	-	0.2百万円					
	委員等旅費	-	0.5百万円					
	庁費	-	1.3百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	-	514.0百万円					
	計	-	516.2百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	○学校施設は、子どもたちの活動の場であり、非常災害時の応急避難場所として、その安全性の確保は極めて重要である。 ○また、非構造部材の耐震対策をはじめ、学校施設の防災機能の強化は喫緊の課題であり、国としてその推進の方策を示す必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	○学校施設の安全性を確保するため、専門的技術者の派遣による技術的支援体制を整備し、効果的なアドバイスをする仕組みを構築させることを目的とし、都道府県教育委員会に委託するものであり、受益者との負担関係は妥当である。 ○専門的技術者を派遣し、学校施設の危険度や対策の優先度の判断、適切な対策手法に関する助言を行うために必要な経費となっている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	○学校設置者である教育委員会等における施設担当技術職員の数が不足している現状等も踏まえ、専門的技術者を各都道府県教育委員会に派遣することにより、学校施設の危険度や対策の優先度の判断、適切な対策手法の策定が進み、効果的な対策を講じることが可能。その結果及び手法等を他の学校施設の対策に生かすことにより、迅速かつ効率的な対策の強化を図ることが可能となるため、実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当該事業は、学校設置者である教育委員会等における施設担当技術職員の数が不足している現状等も踏まえ、専門的技術者を各都道府県教育委員会に派遣することにより、学校施設の危険度や対策の優先度の判断、適切な対策手法の策定が進み、効果的な対策を講じることが可能となり、子どもたちの活動の場であるとともに、非常災害時の応急避難場所として、その安全性の確保が極めて重要である学校施設の非構造部材の耐震対策をはじめ、学校施設の防災機能の強化を加速するもの。		
予算監視・効率化チームの所見			
本事業は、事業の成果目標等も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

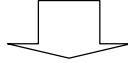
文部科学省
516百万円

〔 学校施設の専門的技術者の派遣委託 〕

専門的技術者講習会の開催

・諸謝金 0.2百万円
・職員旅費 0.2百万円
・委員等旅費 0.5百万円
・庁費 1.3百万円

を含む



【公募・委託】

A. 学校施設の専門的技術者の派遣事業
都道府県教育委員会(全47機関)
514百万円

〔 学校施設の専門的技術者(200人)の派遣 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.都道府県教育委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	200人×25,700円×100日	514			
計		514	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0